レッスン：SPA.NO.18

テーマ：ピラミッド/部屋/目的

SPA/18/KE6/6&7

私の姉妹・兄弟たち、スピリット、光、火の子供たち。

私たちは常に主、絶対、神の聖性に抱かれています。

これまでのレッスンで、私たちは**生**の現象としての現在のパーソナリティーについてたびたび述べてきました。しかし、自分自身のパーソナリティーについて学ぶのはとても困難なことです。私たちは自分自身については知っていると考えます。勿論、自分自身という時、それは現在のパーソナリティーであるセルフのことです。自分自身のパーソナリティーについて学ぶことができる唯一の方法は、自分自身の意識を現れの手段から切り離すことです。

それは可能でしょうか？不可能です。しかし可能なことは、現在のパーソナリティーを生かしめている**生**のスパーク、**生それ自身**である部分の意識を切り離すこと、現在のパーソナリティーの意識をいくらか含む意識の部分を切り離すことです。そして現在のパーソナリティーの意識のある部分というとき、無知のなか、制限のなかにある意識を意味します。

どのようにしてそうするのでしょうか？過去において現在のパーソナリティーの部屋のなかで行うエクササイズを提供しました。覚えているかもしれませんが、部屋の真ん中に立ち、もやのかかったホワイトブルーの輝きによって包まれています。しかし、その輝きはとてもぼんやりしており、私たちは霧が充満している方向を見ていますが、私たちの感覚ではその霧のなかで見通すことができず、目の前に、周囲に何があるのかわかりません。周囲にあるものが見えるようになるにはあるエクササイズに従う必要がありました。右に９０度回転し、さらに９０度右に回転し；その後、左に180度回転することによって元の方向に戻りました。そしてそのポジションから今度は左に90度回転しなければなりませんでした。

それ全てにはどういう目的があったのでしょうか？そのエクササイズの目的は創造界のなかで私たちに付き添っているアークエンジェルたちと接触するためでした。私たちはミカエルたちではなくて**この**ミカエル、私たちと非常に密接な**この**ミカエルと接触しようとしたのです。**この**ガブリエル、**この**ラファエルについても同じです。

でもなぜ私たちはそのエクササイズをするのでしょう？たんに三つのアークエンジェルに接触するためなのでしょうか？違います。その理由は私たち自身の現在のパーソナリティーを観察できるようになるためであり、それがそのエクササイズの目的です。

エクササイズの次のステップはスタート地点の方向を向いて、自分自身の前にフォーカスすることでした。そうすることによって、ウリエルと接触しようとしたのです。そしてご存じのようにウリエルとは、現在のパーソナリティーが他の三つに関するワークに親しむことができるように助けてくれるアークエンジェルです。彼はまた他の三つのコーディネーターでもあるのです。

現在のパーソナリティーがそれに成功すると、現在のパーソナリティーは**生それ自身**としての意識を現在のパーソナリティーから切り離すことができるようになります。そしてその意識を自分の前にあるイメージに置くことができます。

自分の前の鏡の中に見ているそのイメージは像、三次元の像であり、単なる表面的な像ではありません。ですから、私たちは**生それ自身**としてのその意識の部分を、現在のパーソナリティーの意識の一部分と共に、目の前にある像のなかに移行させます。そしてそのポジションから今や私たちは思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーを観察することができるのです。観察それ自体に、そして観察者にいかなる影響を及ぼすこともなく、あらゆる欠点のある現在のパーソナリティーを観察することが可能となります。そしてそのポジションで、観察する者に対しても、観察される者に対しても、観察それ自体が起きるのです。

さらにまた、自分の諸体が自分の前にあり、部屋の真ん中でそのセルフを見ているのですが、それは自分の前にあるものを観察するという意味ではありません。なぜなら、その一部分はまた観察する者のなか、像のなかにあるからです。ですから、私たちは今、像から双対性を表現するのですが、その双対性は過去にお話しした二元性とは異なっています。この双対性とは**生それ自体**としての意識の現れであり、生の現象としての、思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーの意識の現れです。

Page2

これが現在のパーソナリティーについての真のスタディー（＊勉強）をスタートする唯一の方法です。これは過去には知られていなかったものです；自分の現在のパーソナリティーを観察するには、外側から、距離を置いて観察する必要があります…現在のパーソナリティーの欠点から影響を受けることなしに。

部屋の真ん中にいる間に、現在のパーソナリティーがそれを通して現れているその手段のなかにいる間に、それを行わないということがあるでしょうか？その双対性を表現することがなぜできないのでしょうか？というのも、**生それ自体**としての意識は不定形の体を通じて現れることはできないのです。もし不定形の体を通して表現される場合には、その体にダメージをもたらし、体を焼き尽くしてしまいます。それ故に、私たちのその部分を分離させ、それを自分の前にある像に移行させるのです。前に述べたように、部屋のその側から来る白い光はあまりにも輝いているので私たちは自分の輝きをそれと比べることはできません。ですから、そのようにして現在のパーソナリティーは思考・行動の仕方としての自分自身のセルフについて学び始めることができるのです。

さて、私たちは特定のやり方でエクササイズを始めると言い、その目的とはまず最初にミカエル、ラファエル、ガブリエルという三つのアークエンジェルと接触し、その後にウリエルと接触します。ですから、四つのアークエンジェルです。

それでは私たちの守護大天使についてはどうでしょうか？以前、現在のパーソナリティーには五つのアークエンジェルが付き添っていると言いました。いつ私たちはそのアークエンジェルと接触するのでしょうか？それは現在のパーソナリティーの準備ができた時にはじめて始まるでしょう。

私たちが部屋の真ん中にいる時、私たちにはそのアークエンジェルと接触する準備が本当にできているのでしょうか？答えはノーです。意識が像のなかにある時にその像からのみ、ウリエルおよび守護の大天使と接触することができます。その像とは私たち自身のその部分です。なぜなら、自分の前にいる像はまた自分自身のなかにもあるからです。そのようにして私たちは**生**の意識のその部分を自分の前のイメージに移行させるのです。覚えているかもしれませんが、私たちのなかにはイデアとしての体、純粋な体があると以前言いました。それは**生それ自体**の体です。ですから私たちは**生それ自体**としての意識を像に、イメージに転送させ、その後でそれは像となるのです。

しかし、最初は意識が像のなかにいる間にこの像の中で動きを創造するわけではありません。そうです、意識が私たちの諸体のなかにある間に像が応答するかどうかをテストすることができます；もし私たちが右手を動かせば、像の左手が動くのが見えるといった具合に。しかし、意識が分離されて像に移行されている時、私たちは最初はいかなる動きもしません。後に起きることは時間の問題です。

ですから、これが現在のパーソナリティーについての真の勉強を始める唯一の方法です。過去に行ったことは全て現在のパーソナリティーの表面に関するワークです。なぜなら、現在のパーソナリティーは気づきのフィルター、思考・行動の仕方の影響下にあったからです。ですから現在のパーソナリティーについての勉強をするために、私たちはこのワークをする必要があり、その後で現在のパーソナリティーは四面ピラミッドの中で別の種類のワークを行います。

以前のレッスンにおいて、これらの二種類のエクササイズを分けていました。一つのエクササイズは別のもう一つのエクササイズとは異なった目的があります。部屋のなかで行うエクササイズは現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルたちと接触するという目的があります…それによって現在のパーソナリティーが自分自身のセルフについて学ぶことができるためです。そして後に四面ピラミッドの中で行うエクササイズは様々なアークエンジェルのオーダーに同調するためです。それら二つはとても似ているように見えますが、二つの異なったエクササイズです。

現在のパーソナリティーについての勉強をスタートする前に、現在のパーソナリティーの部屋の中で行うワークがたくさんあります。それら全てのエクササイズには同じ目的があります。それは現在のパーソナリティーが**生それ自体**としての意識を、無知の中にいる部分のそれと切り離すことができるようになるべく準備することです。

またかつて、**生それ自体**と見なすことのできる部分の意識は現在のパーソナリティーの五分の一であり、それは現在のパーソナリティーにとって意識の苦悶として現れ、他の五分の四は思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーである、と述べたことがあります。

さて、五分の四のなかのどれだけが五分の一と一緒に転送されるのでしょうか？パーセンテージは非常に僅かですが、それは**生**が現在のパーソナリティーのなかに留まるためのリンクです。それは例えれば、現在のパーソナリティーがエクソマトシスの状態にある時のシルバーコードのようなものです。ここでもそれと同じようなことが生じています。像と現在のパーソナリティーの諸体の間にはリンク、つなぐものがあります。

Page3

さて、自分自身に関して学ぶ唯一の目的は、現在のパーソナリティーが成長に関して適切ではないものを捨て去ることです。私たちは常に後ろではなく前を見て進むべきです。成長について適切でないものと言うとき、それは何のことなのでしょうか？

昔は、成長へ向けての可能性は異なっていました。しかし、今日では与えられている可能性を利用するという特定の可能性があります。もし私たちがそのような可能性を利用しない場合、今日達成することのできる成長を大幅に遅らせることになります。ですから、私たちは可能な最高の進化・成長の到達に向けて、それを利用して進むべきです。

もし過去に目を向けて昔の人々を見れば、現代の人間に与えられている可能性と比較すると昔の人々に与えられていた可能性は非常に限られていました。もしこの地球に今初めて転生する人間がいるとするなら、その人間の可能性はかつて地球上に初めて存在した人間たちに与えられた可能性と比較するとずっと高いものとなります。彼らを助ける同胞の人間たちがたくさんいて、この地球では多くの成長があります。

ですから、私たちは私たちのガイダンス、私たちのサポートを必要とする他の人々を助けるために、より良いセルフを表現しようとしているのです。私たちのアガピを必要とする人々のために私たちの愛とアガピを現すために。

私たちは探求の途上にあり、真理の探究者ですが、しかし一体誰が探求しているのでしょうか？エレブナとして私たちは常に探求しており、この探求には終わりはありません。しかし次のように言う人もいるかもしれません、「そうかもしれないが、探求者のなかには非常に高い気づきのレベルに到達した人もおり、恐らく彼らは現在のパーソナリティーの自己実現のレベルに到達しているかもしれない。なぜそのような人々が探求を続けるのか？彼らにもこの探求が必要なのか？」と。実際、必要ありません。「しかし、もし彼らが自己実現に到達したのなら、転生のサイクルにある目的は何なのか？」彼らの唯一の目的は他の人々を助けることであり、彼らは探求する必要があります。「しかし、もし彼らが自分自身のために何も必要としないのなら、何を探求するというのだ？」

それは、今彼らが表現しているレベルに到達するために彼らが通った道よりももっと快適な道を同胞の人間のために発見するために探求するのです。彼らは山の頂上に到達するために非常に困難な道をたどらねばならなかったのです。なぜなら、誰ももっと簡単な道を教えてくれなかったからです。彼らは助けようとする人々のバイブレーションに合わせて自分たちのバイブレーションを下げねばなりません。そして、光がもっともっと輝きを増すように探求を始めるのです。

知識、そうです、新しい知識が表面に浮上するでしょう。過去に彼らが表現することのなかった知識です。その新しい知識は彼らが何かを達成する助けにはなりませんが、しかしその知識は他の人々が現在のパーソナリティーの自己実現に到達するための速くて、より快適な方法を見いだす助けとなるのです。そのために地球上の最後の人間が自己実現に到達するまで、それらのパーソナリティーたちは探求を続けるのです。

さて、部屋の真ん中にいる現在のパーソナリティーに戻りましょう。アークエンジェルたちと接触するのは現在のパーソナリティーではありません。最初にアークエンジェルたちに接触するのは**生それ自体**としての意識です。そして徐々に準備ができた時、現在のパーソナリティーはそれらのアークエンジェルたちと接触し、知り合いになり、究極的にはそれらのアークエンジェルたちを通じて彼が属するオーダーに同調するのです。

あなた方は現在のパーソナリティーから**生それ自体**の意識である五分の一を切り離すのがとても困難に感じるでしょう。しかし、それは自分自身についての真のワークをスタートするための唯一の方法なのです。

それではこのエクササイズをしましょう。ミカエル、ガブリエル、ラファエルに接触しようとして目の前にある鏡に向かう時には大いに注意を払ってください。勿論、何かがあなたを後ろに引き戻そうとしますが、止まらずにエクササイズを続けてください。あなたが現在のパーソナリティーの全てを像のなか、自分の前にあるイメージのなかに移行させようとしているのがわかるでしょう。しかし、そうしてはいけません。現在のパーソナリティーの意識は現在のパーソナリティーの諸体のなかに留まっているべきであり、五分の一が五分の四の僅かな部分と共に像に転送されるのです。**生それ自体**としての意識である五分の一が五分の四の僅かな部分と共に像に転送されるのです

SPA.NO.18 エクササイズ　NO.1

静かにすわります…真っ白な自分自身をイメージし、自分の形の境界を感じます…自分自身が五芒星によって包まれ、守られているのをイメージします…あなたは今五芒星のなかにいて、霧のようなホワイトブルーの輝きのある空間にいます…この輝きはあまり明るくありません…非常に重い感じで霧のようです…この環境のなかでは五感はあまり助けになりません…

Page4

あなたは自分の部屋の真ん中に立っていますが、周囲の霧のために五感を通して自分の指をこのリアリティーの上に置くことはできません。そして、この霧、もやは実際には現在のパーソナリティーによって表現されている無知なのです。自分の前にフォーカスし、どんなに努力しようとも何も見ることはできません。

それでは右に90度回転します…今あなたは別な方向に面しています…この方向にフォーカスし、できるだけ集中しますが、自分自身を開いて自由な状態にします…大いに努力し、集中していくと徐々にあなたを取り囲んでいる霧を通じて別の光が見えてきます…徐々に自分の前方に赤い輝きが広がっているのが見え…今、その輝きがもっとはっきりと見えます…それは目の前にある壁の輝きです…あなたの部屋の四つの壁の一つであり、もともと自分の右側にあった壁です。あなたはミカエルの助けによってそれに成功したのですが、彼の助けによってあなたは彼と接触するのです…その方向、その光に集中すればするほど、あなたはもっともっとミカエルと接触することができます…

さらに90度右に回転すると、別な方向に面しています…周囲の霧のために最初は何も見えません…しかし、大いに努力したあと、大いに集中して努力するとホワイトブルーの光が見えてきます…その光はあなたの周囲の光とは比べものになりません…徐々に目の前に見えてくる光は非常に明るく、鮮明です…目の前の壁のその輝きは非常に明るくて鮮明であり、それは本当のホワイトブルーの輝きです。ガブリエルの助けによってあなたはそれを見る必要があります…その輝きにフォーカスすればするほど、あなたはガブリエルに接触するための努力をすることになります…

それでは左に180度回転し、初めに立っていた方向に面しています…前方にフォーカスします…何か影のようなものが見えますが、霧のためにそれが何なのかわかりません…それは影です…今のところその影がどんな形をしているのかわかりません。

左に90度回ります…今や新しい方向に面してします…この方向にフォーカスし、大いに努力してフォーカスします…すると徐々に霧を通してビジョンが見えてきます…その光が徐々に目の前に見えてきます…それはあなたの部屋のもう一つの壁の光です…あなたが今見ているのはウルトラ・バイオレットの色であり、その光がどんどん輝きを増してきます…今やあなたのラファエルの助けによってその輝きを見ることに成功しています…目の前のその輝きにフォーカスすればするほど、あなたはラファエルと接触するための努力をしていることになります…あなたは今や、ミカエル、ガブリエル、ラファエルと接触しようとしました…そうです、その努力はあなたの現在のパーソナリティーからのものです…

それでは右に90度回転し、初めの方向に面しています…そのミカエル、そのガブリエル、そのラファエルにあなたが接触を始めた最初の方向です…

今あなたは前方にフォーカスして努力をすれば、ビジョンが見えてきて、徐々に目の前に白い輝きが現れるのがわかりました。それは前にある壁の白い輝きです。その輝きは白い光の輝きであり、それは非常に鮮明に輝いています。しかし、またあなたは目の前の白色の光にフォーカスすると、白く輝く鏡にフォーカスしている感じがすることに気がつきます。そして徐々に目の前にある白色の輝きの中に自分のイメージが見えてきます…それは本当のイメージです…最初あなたは「そうだろうか？」と自分自身に問います…それを確信するためにテストをしてみます…あなたが右手を動かすと、目の前のイメージのなかで左手が動きます…もし左手を動かすと、イメージのなかで右手が動きます…これはあなたが鏡のなかの自分を見ている時に起きることです…それが今起きています…しかし、目の前のイメージにフォーカスすると、そのイメージがあまりにも完璧に見えます…あたかも自分がそうなりたいと思っている自分を見ているようです…それはあなた自身の真のイメージなのですが、そこにはもっと細かな完璧さがあります…それは形ではなく、何かがあなたをそのイメージに引きつけるのですが、今のところそれが何なのかわかりません…

それでは、**生それ自体**としての意識を思考・行動の仕方としてのあなたの意識の一部と共に切り離し、それをあなたの前のイメージへと移行させます…しかし、両方のポジションから見ることはしません…部屋の真ん中に立っている身体を背後に残して去り…今あなたは鏡のなかのあなたのイメージから自分の身体をみていますが、そのイメージは実際にはアイコンです…それは非常に純粋な光の身体であり、その身体は**生それ自体**に属しています…なぜなら、もしあなたが**生それ自体**としての意識の移行に成功すれば、**生それ自体**としての意識はイデアとしての体、つまり元型であるイデアとしての人間の体と共にあることになるからです。それではこの体のなかに思考・行動の仕方を意味する現在のパーソナリティーの意識の一部分を受け入れます…

Page 5

あなたが現在のパーソナリティーにフォーカスしようとする時、あなたから離れている何かにフォーカスしてそれをスタディー(study、観察する、学ぶ)しようとする必要はありません。あなたの前にある現在のパーソナリティーの諸体にフォーカスすることによって実際にスタディーが生じています…そして逆の部分のなかで、あなたのなかで、それは像なのですがその像のなかで生じています。あなたの中で、という意味は像のなかでということです。しかし、現在のパーソナリティーの意識のその一部分は現在のパーソナリティーの残りの大部分の意識からの影響を受けていません。それ故に思考・行動としての現在のパーソナリティーのスタディーに、それに対する批判・判断にいかなる影響も及ぼすことはありません。それでは、**生**のそのスパークを部屋の真ん中に立っている現在のパーソナリティーの中に戻します。この**生**のスパークを自由に現在のパーソナリティーから切り離すことができるようになることを願い…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは主、絶対、主の聖性によって常に包まれています。

質問：意識および思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーの一部分を移行させる時、それを見るか、あるいはそれを強化するために、エンドスコピシスとしてあなたが行ったことについて実際にワークをするのですか？それを実際に行うことができるのですか？

Ｋ：いいですか、五分の四から五分の一を切り離すためには…そしてこれは思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーの意識から**生それ自体**としての意識を切り離すことを意味しますが…あなた方はその前にワークをたくさん行っている必要があります。それに成功するためには、それ以前の全てのワークの結果を達成している必要があります。さもないと、それを行うのがとても難しくなります。それゆえ、あなた方は自分自身に問う必要あります、「自分は様々なエーテルの特質をマスターしただろうか？それに向けてワークをしただろうか？過去に与えられた全てのワークを十分に行っただろうか？」と。

そうです、過去に多くの人々が現在のパーソナリティーの二つの状態（ステート）から現在のパーソナリティーをスタディーすることについて述べています。それは異なったポジションから、異なった角度から、それ自身に関するものを観察する何かとして現されるためです；しかし、彼らはどのようにしたらそれが可能かについては述べていません。彼らは思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーのなかでそれを行おうとしましたが、常に現在のパーソナリティーの意識の影響下にあり、気づきのフィルターの影響下にありました。勿論、幼児的なパーソナリティーは自分自身のもう一方の部分が批判・判断するたびに何か言い訳を見つけようとしました。しかし、そのような状態では何も成功しません。あなた方は幼児的パーソナリティーの影響を受けることのないセルフを現す必要があり、いかなる言い訳も許されないのです。ですから、前に進むために必要なことは、これまで何年も行ってきたワークの結果です。

決して、今でも遅すぎるということはありません。これまで真面目に勉強してこなかった探求者たちには、過去の全てのレッスンを復習し、エクササイズを行うようアドバイスします。私たちは多くの知識、多くのエクササイズを提供してきました；しかし、これから前に進むためには、知識それ自体、あるいは全てとのコンビネーションに欠けた特定のエクササイズだけでは成功しません。すべてのコンビネーション、そして熱心なワーク、それによって探求者は自分の部屋のなかで現在のパーソナリティーのそれらのアークエンジェルたちとの接触に成功することができるのです。

そして説明したように、私たちは常に五分の一の助けによって、まず三つのアークエンジェルと接触し、その後で他の二つのアークエンジェルと接触します。他の二つのアークエンジェルと最初に接触するのは五分の一の部分であり、実際には五分の一は常にそれらと接触しているのですが、現在のパーソナリティーはそれに気づいていないのです。

これからどうなるかと言うと、五分の一によって経験されてきたことが現在のパーソナリティーの意識でも知ることができるようになります。五分の一にとっては実際には必要ないのです、それは**生それ自体**のスパークなのですから。知ることを必要としているのは無知のなかにいる五分の四の方です。五分の四が五分の一を利用し、使うのです。しかし、ウリエルおよび現在のパーソナリティーの守護大天使によって抱かれるためにはワークが必要です。

私たちが多くのことをやり遂げた時、私たちの前にいる守護大天使はとても喜び、ほほえみかけ、私たちが達成した結果として大きな喜びを示すことででしょう。

質問：本来、意識は真理、リアリティー、生を示すものですが、現在のパーソナリティーとして人はそのリアリティーを決して知ることができません。もしそのようになることができないなら…。

Ｋ：もしあなたが像のなかにいる間でさえ**生それ自体**としてのリアリティーを現わすことを期待するなら、答えはノーです。というのもそのスパークは生それ自体ですが、そのスパークはある目的のために現在のパーソナリティーを活性化するために使われており、現在のパーソナリティーはまだ得ていない何かを与えられていません。ですから、困難なワークの結果なしには、知識は現在のパーソナリティーに転送されません。そうです、前に述べたようにスパークは現在のパーソナリティーの意識に、例えば１％はあるかもしれません。しかし、その比率では五分の一は影響されません。さらにまた現在のパーソナリティーが気づかない限り五分の一は完全に現れることはありません。結局、そのポジションから人間のヒポスタシス（＊状態）の二つのステートが表現されるのです。残りの現在のパーソナリティーへの橋が完全に現れていないのに、生それ自体がいかにして完全に表現されることが可能でしょうか。

質問：自分の質問をどのように表現したらよいかわからないのですが、私たちは光を暗くするのでしょうか。そして自分の静かなこの部屋のなかで忍耐強く自分自身を理解し始め、実際の人生でプレーしているそれら全てのゲームである衣を剥いでいく、という感じがするのですが。

Ｋ：ワークは部屋のなかでする必要がありますが、真のワークがスタートするためにはより良いセルフを表現しようとしなければなりません…表面的にではなく、真の意味で。気づきのレベルを上昇させ、現在のパーソナリティーが部屋を出る準備をしなければなりません。なぜなら、それは目的の一つだからです。それに成功するためには現在のパーソナリティーから五分の一を切り離すことに成功する必要があります…観察と批判・判断に対する影響を避けるためです。

質問：それでは、私たちの日常生活、日常の活動はそれをプロセスすることによって、部屋から出られるようになるための生の材料を提供していると言うことができますか？

Ｋ：日常生活におけるあなたの言動、行動は時間を通じてあなたに与えられたものに従う必要があります。さもないと、切り離しへの成功に向けた助けをいかにして得られるでしょうか。

質問：恐らく私たちは準備ができていない、とあなたが述べた理由が今わかりました。努力、苦闘は両方のサイドで行われる必要があるのですね。このサイドでより良いセルフになるための努力は部屋のなかで行われる努力に従う必要があるのですね。

Ｋ：部屋と言うとき、それは私たちが今いる所です。あらゆる所です。今私たちは私たちの部屋にいるのです。無知の状態にいる時、私たちは部屋のなかにいます。部屋とは実際人間の無知であり、部屋を囲んでいる境界は無知です。私たちが壁というとき、それらは無知の壁であり、それらの壁は現在のパーソナリティーが無知のなかにいる間、外側の影響から守っているのです。覚えているかもしれませんが以前、僅かな知識またはアンバランスな知識を持つよりは無知のなかにいる方がずっと良い、と述べたことがあります。なぜなら、その時、私たちの城、つまり私たちの部屋の壁は私たちを守るにはそれほど強くないからです。丁度、私たちが自分でひび割れを創造するようなものです。

質問：私たちがエンドスコピシスを行い、潜在意識に暗示の言葉を入れる時、それは今しようとしていることと似ていますね。ただ違いは今私たちは自分自身を外に投げ出そうとしているということです。

Ｋ：それに成功するためには、私たちにはそのような努力、それらのエクササイズの結果が必要です。

質問：でももし私たちがそれらのエクササイズの結果を得ているとしたら、私たちは既に半神になっているのではないですか？

Ｋ：本当にそう思いますか？成功するためには、あなたがあるレベルの気づきを現している必要があります。なぜなら、それぞれのエクササイズは特定のレベルに到達する助けとなっており、別のエクササイズは別のレベルに到達する助けとなっているのです。ですから、先ほどそれらのコンビネーションが必要だと述べたのです。一つのエクササイズだけでは何の助けにもなりません。だからこそ前に、知識、観察・吟味・自己分析・暗示を通じたエンドスコピシスが必要である、と述べたのです。なぜなら、物差し、この種のワークのための基準として知識を用いるからです。様々なサイコノエティカルなエクササイズというワークがあり、またその種のワークを実践することによって成功した結果を与える、提供するというワークもあります。

質問：そうですが、それに結果をもたらすとあなたが言うとき、もし結果があればそれはそれを達成したということではないですか…。

Ｋ：この種のワークによって達成できることを達成しても、それによって仕事、やるべき事を達成したとは言えません。私たちは行うべき仕事を達成することはできません。なぜなら、このワークの後でさらに別のワークが必要だからです。このワークには多くのステップがあります。

EREVNA/SPA.18/DOC/KE6/76&7